

編集後記

コロナ禍といわれて2年半が経過しましたが、いつ終息するのか判断が難しいところです。感染症はひとたび大流行が起こると終息には最低でも3年にかかるようです。奈良時代の天平年間に起きた天然痘の大流行も3年、約100年前のスペイン風邪（今風の呼び方では新型インフルエンザ）のときも3年間流行したようです。終息するには特效薬ができるか、あるいは集団免疫を持つかそのどちらかだといわれています。現在の新型コロナウイルス感染症についても、終息まで最低でもあと半年から1年にかかるような気がします。

さて、本特集号は「大中口径管路の非開削修繕・更生技術」ということで9編のご投稿をいただき

ました。筆者はこの分野に関しては門外漢ですが、様々な対象物や環境に対応するため工夫を重ね、技術開発のご苦労が感じられ、毎回興味深く読ませていただいています。下水道管の老朽化が問題となつてかなりの年月が経ったような気がします。それでも大事故などに至っていないのはこのような技術のおかげであると常々思っているところです。

国内イベント報告として「下水道展'22東京」の取材記事も掲載され、マスクをしながらも対面で開催された様子がうかがえます。大盛況という感じではないのかもしれませんが、盛況に行われたとお見受けします。新型コロナウイルス感染症の終息は、すぐここに来ているのかもしれませんが。

〈本誌編集委員 鈴木敬一〉

○機関誌編集委員会

□特別顧問

- ▶森田 弘昭
(一社)日本非開削技術協会会長

□委員長

- ▶尾崎 正明
(株)G&U 技術研究センター代表取締役

□委員

- ▶浅井 岳春
オリジナル設計・コンサルティング部エンジニアリング課
- ▶小川 仁
芦森工業株式会社製品事業本部バルブ統括部バルブ営業部長
- ▶小原 信次
(公財)水道技術研究センター管路技術部長
- ▶河西 一嘉
エクシオグループ株式会社土木事業本部土木営業部門課長代理

- ▶黒田 博之
大和技建株式会社支店支店長
- ▶鈴木 敬一
川崎地質(株)企画・技術本部課長
- ▶竹中 聡
東京電力パワーグリッド株式会社流通土木グループ管路チームリーダー
- ▶津野 和宏
国土大学理工学部理工学系学系教授
- ▶出口 大志
NTTインフラネットワーク設備本部設備マネジメント部アーバンデザインセンター所長
- ▶中川 喜夫
中川ヒューマン管工業株式会社取締役執行役員戦略推進室長
- ▶長島 隆幸
株式会社水コンサルタント取締役東日本事業本部副事業部長兼東京支社支社長

- ▶西坂 浩章
積水化学工業株式会社環境・ライフラインカンパニー管路更生事業部課長
- ▶森 治郎
アイレック技建株式会社非開削推進事業本部副部長
- ▶山長 聖和
(株)奥村組営業本部営業戦略部管理課長

○編集スタッフ

事務局長：金子 謙二
編集：赤坂 誠・大屋 健
古川 みずき

環境にやさしい

非開削技術

季刊

No.121 2022 Oct. 令和4年10月1日発行

編集：「非開削技術」編集委員会

発行所：一般社団法人 日本非開削技術協会

〒135-0047 東京都江東区富岡2-11-18

リードシー門前仲町ビル3階

TEL.03(5639)9970 FAX.03(5639)9975

E-mail: office@jstt.jp

https://www.jstt.jp/

発行人：森田弘昭

印刷所：株式会社LSプランニング



● ご案内 ●

◇本誌のご購読について

ご購読をご希望の方は、当協会webサイトから、またはJSTT事務局まで直接お申し込み下さい。

○購読料(税込み)

1冊 1,650円(本体1,500円)〒400円

1ヵ年(4冊)6,600円(本体6,000円)〒1,600円

◇発行

年4冊：4・7・10・1月の1日発行

◇広告のお申し込みについて

本誌に広告の掲載をご希望の方は、編集室までご連絡下さい。

◇技術記事

非開削に関連する技術、製品についての技術記事を募集しています。

投稿技術記事は委員会でご選考の上、掲載技術記事には本誌規定の原稿料をお支払いすると共に「非開削技術報告表彰」の候補としてノミネートされます。

◇情報のご提供について

非開削技術に関連する新技術、新製品、図書の紹介、関連団体の動向や講演会、セミナー・展示会の案内など、情報をお寄せ下さい。

©JSTT 2022 Printed in Japan / ISSN 2435-841X

本誌の複写・複製・転載は必ず許可を得てください。